

■ 夜桜ライトアップ、旭ヶ丘公園内は家族連れなどでにぎわう



4月25日から5月5日まで、旭ヶ丘公園で「夜桜ライトアップ」が行われました。

旭ヶ丘公園の桜の知名度アップを目的に、毎年開花時期に合わせて夜間の桜に光を当て、明るく浮かび上がらせているものです。

今年の開花を観測したのは4月27

日、見ごろの満開を迎えたのは昨年と同じ4月30日でした。

好天に恵まれた30日は、家族連れなどが大勢訪れ、エゾヤマザクラやソメイヨシノを見物。夜にはライトアップされた桜と同公園から一望できる市内の夜景の記念写真を撮ったりして楽しむ姿が見られました。

■ 小学校に入学した新1年生に4団体が自転車用ヘルメットを寄贈

5月8日、芦別市交通安全対策本部、芦別交通安全協会、芦別地区安全運転管理者協会、中空知地方安全運転管理者事業主会芦別支部の4団体は共同で、芦別と上芦別の両小学校1年生56人に向けてヘルメットを寄贈しました。

これは、4月1日に施行された改

正道路交通法により、自転車に乗る際にヘルメットを着用することが全年齢で努力義務になったことを受けて行われたものです。

各校で行われた贈呈式でヘルメットを受け取った子どもたちは「ありがとうございます。大切に使います」と笑顔でお礼を言っていました。



■ 町内会長会議が、4年ぶりに開催されました



5月9日、総合福祉センターふれあいホールで、「町内会長会議」が開催されました。

地域の代表である町内会長と市長や関係職員、約40人が出席しました。

当会議は毎年行われていましたが、コロナ禍のため、4年ぶりの開催となりました。

荻原市長から、「今年は芦別130周年・市制施行70周年を迎え、市民のみなさんの健康で安心して暮らせるまちづくりに力をつくしたい」と挨拶があり、その後、令和5年度各会計予算及び「市総合庁舎の整備」や「芦別浄水場の更新」など、各所管担当者からの説明がありました。

■ きれいなまちに、全市一斉親子クリーン作戦が行われる

5月14日、「全市一斉親子クリーン作戦」が行われました。

毎年、市内のほぼ全ての町内会で、身近な場所の清掃活動を通して、きれいで住みよいまちづくりをしようとして行われているものです。

当日は天候も良く、朝早くから家族や町内会のボランティアグループ

などが一斉に繰り出し、公園や道路わきなどに落ちている紙くずや空き缶、ペットボトルなどのごみを拾い集めました。

参加したかたは「みんなでゴミをポイ捨てしないように気をつけて、ゴミのないきれいなまちにしたいですね」などと話していました。

